



## 冬を彩る、無数の輝き

この季節の風物詩、イルミネーション。仁賀保中学校前の阿部隼也さん宅では、17年前から毎年イルミネーションを点灯し、仁中生徒らにこの季節の訪れを告げてくれています。

今年も、高校受験を控える受験生が、明るく、そして優しい光の前でサンタクロースをお願いごとをしていました。

### 主な内容

- にかほ市この1年.....P 2～3
- まちの話題.....P 5～7
- 行政情報チャンネル.....P10～13
- 暮らしの掲示板.....P14～15
- 戸籍の窓口、12月のカレンダー.....P17

vol.222

2014

# 12.15

がんばろう東北

## まちの元気人

「ハタハタ寿司」の  
おいしさを全国へ発信！



三浦 悦朗さん  
(平沢 / 56歳)

今年開催された農林水産省共催「第6回フードアクション・ニッポンアワード2014」で見事、食文化賞（全国から5件）を受賞した三浦米太郎商店（店主・三浦悦朗さん）。

三浦さんは、100年余りにわたって受け継がれてきた秋田の伝統食「ハタハタ寿司」のおいしさを全国へ広げるため、日々努力を続ける元気人です。

26歳の時、上京していた私は、父の体調が思わしくないのを機に、稼業を手伝うことになりました。

父からは、特に製造、販売の仕方など手取り足取り教わるようなことはありませんでした。が、目で見て体で覚え、一緒に取引先をまわるなどの日々を過ごしました。

私が29歳の時に父が他界。それからの日々は、ハタハタの漁獲高の落ち込みや魚離れが進むなど、強烈な向い風を受けましたが、昔

ながらの味は守りつつ、新しい商品開発に取り組みました。試行錯誤を繰り返した当時が、今思えば、私の転機だったと思います。

県の食品研究所とタイアップし、主原料と麴の調和の研究。生臭くなく食べやすい工夫。ニーズに応える商品開発。お酒とのセット販売。いろんな取り組みをしました。「変える」という気持ちや行動は、すごく勇気のあることだと実感しました。

### 「おいしいね」の言葉から。

販路拡大や地域・商品のPRのため県外の物産展やイベントに参加し、ハタハタ寿司や加工食品を販売しています。すると県外ではハタハタと言う魚を知らない人がたくさんいることに驚かされます。そんな中、「こんな美味しいものをなぜ広めないの」と第三者からの声、私を後押ししたのです。

「おいしいね」を発信したい！その気持ちからフードアクションニッポンアワード2014へ出品。結果、地域の食文化を継承し伝統食に新たな価値を加え、消費者にアピールしてきことが評価され、食文化賞を頂くことができました。

今後「おいしいね」を全国へ発信し、地域活性化と新しい「ハタハタ寿司」の商品化を目標に努力していきたいと思えます。



食文化賞を受賞した  
三浦さんのハタハタ寿司



認定こども園 仁賀保幼稚園・若葉保育園  
すずらん組

作品名：メリークリスマス

紙ねんどでクリスマスツリーと雪だるまを作りました。本物の木の実で飾り付けもしてみました♪

「はやくサンタさん来ないかな～」

ちびっく美術館  
じょうずになてきた！

企画・編集 / にかほ市広報委員会 発行 / にかほ市役所  
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地  
☎0184-43-3200 (代表) ☎0184-43-7510 (直通)  
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



にかほ市・市制施行 10周年

10th Anniversary 平成27年10月1日(木)

広報にかほ は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>